

# 和歌山県教育功労者・優秀教職員知事感謝状受賞者

## 《学校教育部門》

長年にわたり、児童生徒の健康管理・健康教育等に携わり献身的活動を続け、その功績が特に顕著である学校医、学校歯科医、学校薬剤師の方々に感謝状を贈呈する。

えの もと たつ こ  
榎 本 多津子

和歌山市立雑賀小学校 他 1 校 学校医

《主な功績》 平成 3 年から現在まで、学校医として定期健康診断や学校保健会に従事し、児童の健康管理に尽力した。また、学校医部会の運営に尽力するとともに、講演会等に積極的に参加するなど、日々研鑽し、学校医として学校保健に貢献した功績は多大である。

にし おか あき のり  
西 岡 昭 規

海南市立加茂川幼稚園 他 1 校 学校医

《主な功績》 平成 3 年から現在まで、学校医として献身的・精力的に幼児児童の検診及び指導助言を積極的に行うとともに、健康管理、健康保持及び増進等のため尽力された。また、海南医師会の理事として、その職務に精励し、海南医師会の充実発展に尽力するとともに、海南市及び海草地方等における学校保健活動にも積極的に従事するなど、地域全体の医療充実に貢献した功績は多大である。

とみ やま ひろ ふみ  
富 山 博 文

有田市立田鶴小学校 学校歯科医

《主な功績》 平成 2 年から現在まで、学校歯科医として定期健康診断や就学時検診に従事し、児童の健康管理及び健康教育に尽力された。また、学校保健委員会等へ積極的に参加し、児童の健康管理のため、学校への指導助言を行うなど、学校保健及び健康教育の発展向上に貢献した功績は多大である。

## 《社会教育部門》

長年にわたり、社会教育活動に携わり献身的活動を続け、青少年の健全育成や、社会体育、文化の向上に貢献した功績が特に顕著である方々に感謝状を贈呈する。

### ●個人の部

さ たけ まり こ  
佐 竹 万里子

公益財団法人全日本弓道連盟 審議会委員  
和歌山県弓道連盟 名誉会長

《主な功績》 昭和59年から和歌山県弓道連盟の副会長に就任し、地域会員の指導にあたりるとともに、弓道競技の普及、発展に尽力された。また、平成24年から会長、平成26年から名誉会長を歴任し、第70回国民体育大会（紀の国わかやま国体）の準備に尽力し、紀の国わかやま国体成功へ寄与した功績は大きい。さらに、県内のみならず全国各地の講習会における講師や、国際弓道連盟の海外セミナー講師として指導力を発揮するなど弓道競技の競技力向上のため貢献した功績は多大である。

まさ き てる お  
正 木 照 夫

和歌山県柔道連盟 顧問

《主な功績》 昭和63年から和歌山県柔道連盟の理事、副会長の役職を歴任し、連盟の円滑な運営を図るとともに、県内における柔道の競技力の向上に尽力するとともに、平成20年には顧問に就任し、和歌山県柔道連盟の充実に努め、後進への指導及び助言を惜しみなく行い、本県における柔道競技の発展に大いに寄与した。また、和歌山市立楠見中学校の外部指導者として、同校を近畿中学校柔道大会優勝に導くなど、柔道競技の普及と地域の青少年育成に貢献した功績は多大である。

わた なべ のり え  
渡 邊 紀 恵

和歌山市婦人団体連絡協議会 書記

《主な功績》 平成21年から和歌山市婦人団体連絡協議会の書記に就任し、当会の各事業の実施、運営等に尽力し、和歌山市の社会教育の振興に寄与するとともに、和歌山市婦人団体連絡協議会の役員として、和歌山県婦人団体連絡協議会の各種研修会等にも積極的に参加することで、地域での婦人会活動に生かし、他地域の婦人会と交流を図り情報交換を行うことで地域社会の形成に貢献した功績は多大である。

## ●団体の部

おおぜたいこおどりほぞんかい  
大瀬太鼓踊保存会

会長：羽根 千恵子 所在地：田辺市

### 《主な功績》

大瀬の太鼓踊は、毎年8月に田辺市本宮町大瀬地区の盆行事として奉納される大瀬の盆踊りのなかの一つであり、締太鼓を白布で首から吊るした太鼓打ち3人が中央に立ち、その周囲を両手に日の丸扇を持った踊り子たちが扇踊りを踊りながら廻り、外側に立つ音頭取りの歌に合わせて踊る、大瀬地区だけの踊りとして昭和40年に県指定無形民俗文化財、昭和53年に国の「記録作成等の措置に講ずべき無形文化財」（国選択無形民俗文化財）にそれぞれ指定されている。保持団体である大瀬太鼓踊保存会は、伝統芸能の保存・継承を長年にわたって地域を挙げて取り組み、活動歴が50年を超える。同保存会では、大瀬太鼓踊やそれに関連する諸行事を後世に長く伝承するため、本宮地区の住民有志とともに、地元小学校の授業に取り入れ地域のイベント等で披露するなどの活動を通じて、地域文化の担い手づくりや地域住民の世代間の融和、郷土の歴史文化の学習機会の確保など本県の伝統文化の向上と発展のため貢献した功績は多大である。

## 《教育行政部門》

長年にわたり、本県教育の向上に努め、地域と連携した教育の推進に貢献し、その功績が特に顕著である市町村の教育長及び教育委員の方々に感謝状を贈呈する。

しま だ とし あき  
嶋 田 俊 昭

九度山町教育委員会 委員

### 《主な功績》

平成18年から九度山町教育委員会委員として、卓越した見識と豊富な経験を生かし、九度山町教育振興基本計画の策定に取り組むとともに、その教育目標の実現に向けた施策を推進するなど、九度山町の教育振興のため尽力した。また、学校教育において、パソコンを活用した情報教育推進のため、機器の導入に積極的に取り組むとともに、町内学校の普通教室や特別教室等に冷暖房設備の整備を進めるなど教育環境整備に貢献した功績は多大である。

## 《優秀教職員》

長年にわたり、本県学校教育の振興に貢献し、その功績が特に顕著である教職員の方々に感謝状を贈呈する。

いもととときお  
井元登貴男

御坊市立御坊小学校 教諭

《主な功績》

長年にわたり通級指導教室「ことばの教室」及び「まなびの教室」の運営と指導にあたってきた。児童・保護者・学校からの信頼は厚く、多くの通級児童を修了させてきた功績は多大である。平成17年度から県の教育相談等早期支援に係る巡回相談員を務め、通級児童の所属校を訪問し、当該児童の担任や学校長と情報交換及び適切な指導助言を行うなど、当該地方の特別支援教育の充実に大きく貢献した。

かわしまみほ  
川嶋美保

有田市立保田小学校 教諭

《主な功績》

音楽の専門性を生かし、学習内容や方法等を常に創意工夫する授業を行うことで、児童一人一人の音楽に対する意欲や向上心を高め、能力や資質を引き出してきた。第29回及び第37回県小中学校音楽教育研究大会において、研究発表や研究演奏を行うとともに、指導法や研究成果を発信した。また、平成24・25年度に県指導委員を務め、授業研究会等において指導助言を行うなど、当該地方の指導力向上に大きく貢献した。

# 和歌山県教育委員会功労賞受賞者

## 《学校教育部門》

長年にわたり、児童生徒の健康管理・健康教育等に積極的に取り組み、学校保健向上に尽力した学校医、学校歯科医、学校薬剤師の方々に表彰状を授与する。

いわ はし とし こ  
岩 橋 東至子

和歌山市立名草小学校 他2校 学校医

《主な功績》 平成8年から現在に至るまで、学校眼科医として定期健康診断に従事され、学校保健会を通じ生徒の健康管理に尽力した。また、平成16年からは和歌山市医師会学校医部会役員を勤め、学校医部会員として講演会等に積極的に参加し、学校医として日々研鑽するなど学校保健に尽力した功績は誠に顕著である。

おか きん や  
岡 欣也

和歌山市立和佐小学校 学校歯科医

《主な功績》 昭和62年から現在に至るまで、学校歯科医として一人ひとりに児童の状況に応じて親切・丁寧に診察し、学校保健の向上に努めた。また、学校保健委員会においても適切なアドバイスをするなど、和歌山市の学校保健活動の充実に貢献した功績は誠に顕著である。

ふじ き よし あき  
藤 木 嘉 明

海南市立大東小学校 他1校・1園 学校医/園医

《主な功績》 平成10年から現在に至るまで、学校医（園医）として献身的・精力的に園児・児童の健康管理、健康の保持・増進のための検診及び指導助言を積極的に行い、児童の健康管理及び健康教育に尽力した。また、平成31年から令和4年までの3年間、海南医師会の会長、令和4年から現在に至っては、海南医師会顧問と和歌山県医師会代議員会副議長の役職を歴任し、海南市における学校保健活動の充実に貢献した功績は誠に顕著である。

たか がき もと ひで  
高 垣 元 秀

有田市立系我小学校 学校医

《主な功績》 平成14年から現在に至るまで、学校医として定期健康診断や就学時検診等に従事し、児童の健康管理及び健康教育に尽力した。また、各種委員会や研修会に積極的に参加し、児童生徒の健康管理のため、学校への指導助言を行うなど、学校保健・健康教育の発展向上に貢献した功績は誠に顕著である。

やなぎ  
柳

ちづこ  
智津子

有田市立田鶴小学校 学校薬剤師

《主な功績》

昭和53年から現在に至るまで、学校薬剤師として学校の環境衛生検査等に従事し、児童生徒の健康管理及び健康教育に尽力した。また、各種委員会や研修会に積極的に参加し、児童生徒の健康管理のため、学校への指導助言を行うなど、学校保健・健康教育の発展向上に貢献した功績は誠に顕著である。

えの  
榎

もと  
本

みゆき

御坊市立塩屋小学校 他5校・4園 学校医/園医

《主な功績》

平成6年から現在に至るまで、学校医として児童生徒及び園児の定期健康診査や眼科的感染性疾患、眼外傷の予防、さらには近視進行予防や色弱児童の対応など専門的立場からきめ細かい指導及び啓発をされた。また、平成30年からは日高医師会の理事、令和4年より学校医部会の会長として、学校保健・学校安全活動推進に指導的役割を果たすなど学校保健活動の充実に貢献した功績は誠に顕著である。

きの  
木

した  
下

かや

新宮市立城南中学校 学校薬剤師

《主な功績》

平成12年から現在に至るまで、学校薬剤師として卓越した学識と高い教育的見識をもって、学校保健・健康教育の推進に尽力した。特に、子供達が、「健やかに、伸びやかに、たくましく」成長するために、一人ひとりの児童生徒及び教職員それぞれに対応した保健管理と保健指導に日夜努力し、その真摯な指導は、児童生徒は勿論のこと、保護者・地域住民からの信頼も厚く、学校保健・健康教育に貢献した功績は誠に顕著である。

こう  
河

の  
野

たかし  
孝

紀美野町立下神野小学校 他1校 学校歯科医

《主な功績》

平成14年から現在に至るまで、学校歯科医として小・中学校の学校歯科衛生活動に尽力し、学校長や養護教諭等に児童生徒への指導について適切な助言を行った。就学时健診時にも穏やかな雰囲気、園児に対して優しく健診を実施している。また、町内の学校保健教育推進のため、学校保健安全会へも積極的に参加し、児童生徒に歯の健康状態や児童生徒の生活や習慣について指導する中で、顕微鏡を使用し、歯垢や歯肉炎を観察しながら予防方法等の説明をするなど、学校保健及び健康教育の発展に貢献した功績は誠に顕著である。

まえ だ よし のり  
前 田 至 規

かつらぎ町立笠田小学校 他2校・1園 学校医/園医

《主な功績》

平成2年から現在に至るまで、学校医（園医）として内科検診等を通じて、児童生徒等の健康について常に的確な助言を行い、健やかな成長と健康増進に尽力した。また、心臓検診（聴診、心音図検査、心電図検査）を中心に児童生徒の健康指導・管理に尽力し、健康増進に寄与した功績は誠に顕著である。

おお しま せん や  
大 嶋 仙 哉

みなべ町立高城小学校 他2校 学校医

《主な功績》

平成4年から現在に至るまで、学校医として児童生徒の定期健康診査や予防接種業務を精力的に実施するとともに、校内の健康・安全管理の充実や保険衛生観念の向上に尽力した。また、学校における喫煙防止出前授業にも積極的に出務し、喫煙が健康に与える影響について啓発するなど、児童生徒の健康維持増進と学校保健の充実に貢献した功績は誠に顕著である。

はし もと まさ お  
橋 本 雅 夫

和歌山県立海南高等学校 学校医

《主な功績》

平成12年から現在に至るまで、学校医として生徒の健康診断、健康管理等に尽力した。また、生徒の健康増進のため、必要な指導及び助言を積極的に行うとともに、教職員に対しても健康管理の重要性を説くなど、学校保健及び学校安全向上に貢献した功績は誠に顕著である。

なか むら よし のぶ  
中 村 吉 伸

和歌山県立箕島高等学校 学校医

《主な功績》

平成9年から現在に至るまで、学校医として生徒の健康診断を行うとともに、養護教諭と連携し、学校に対して生徒の健康安全について適切な指導助言を行っている。また、感染症流行時においては、感染症予防対策等について、養護教諭と連携して学校に対して適切な助言を行うなど、学校保健及び学校安全に貢献した功績は誠に顕著である。

みや い つよし  
宮 井 強

和歌山県立箕島高等学校 学校歯科医

《主な功績》

平成11年から現在に至るまで、学校歯科医として生徒の歯科健康診断を行うとともに、検診時には、う歯等がある生徒に直接指導を行うなど生徒に寄り添った歯科指導を行っている。また、検診後には養護教諭と情報共有し、検診結果や事後指導について適切な指導助言を行うなど、学校保健に貢献した功績は誠に顕著である。

おぎ の こう し  
菫 野 耕 志

和歌山県立有田中央高等学校 学校歯科医

《主な功績》

昭和59年から現在に至るまで、学校歯科医として学校保健の充実に熱意をもって、学校への指導助言や生徒の口腔内状態などの健康管理に努めた。また、虫歯予防や口腔衛生教育にも積極的に取り組み、学校保健教育の進展に大きく貢献した功績は誠に顕著である。

ぬく い みつる  
抜 井 満

和歌山県立有田中央高等学校 学校薬剤師

《主な功績》

平成9年から現在に至るまで、学校薬剤師として各種学校環境衛生検査に従事するとともに、生徒の健康管理のため、教職員への指導助言を行い、学校保健の充実に寄与した。また、感染症その他の疾患予防等に向け、健康相談及び保健指導を行うなど、学校薬剤師として学校保健に尽力した功績は誠に顕著である。

まつ むら ひろ し  
松 村 浩 史

和歌山県立みくまの支援学校 学校薬剤師

《主な功績》

平成12年から現在に至るまで、学校薬剤師として教育環境の整備に精励し、児童生徒の健康保持や衛生管理に努めた。また、感染症の感染防止対策等において、環境衛生面から専門的な指導と助言を養護教諭、保健主事等に対し行うなど、学校環境衛生の向上に貢献した功績は誠に顕著である。



## 《社会教育部門》

社会教育活動を継続して行い、青少年の健全育成や、社会体育、文化の向上に貢献した方々に表彰状を授与する。

### ●個人の部

うえ だ  
上 田 さとみ

湯浅町教育委員会 湯浅町家庭教育支援チーム  
「とらいあぐる」代表・スクールソーシャルワーカー

《主な功績》 平成21年から現在に至るまで、訪問型家庭教育支援チーム「とらいあぐる」の代表として、職務に精励している。学校と密接に連携しながら家庭への関わりを充実させることで、生徒指導上の問題を未然防止、早期発見・早期対応できる体制づくりに尽力した。0歳から義務教育修了までの児童生徒がいる家庭への全戸訪問によるシステムを構築し、子供の健全な育成、家庭の安定、学校の安定に貢献した功績は誠に顕著である。

つ だ けん じ  
津 田 兼 司

和歌山県アイスホッケー連盟 理事長

《主な功績》 和歌山県アイスホッケー連盟の理事長・副理事長として、本連盟の運営や選手育成・普及発展に尽力した。2015年の国わかやま国体開催時には、選手強化・勧誘を行うとともに、平成26年に開催された冬季近畿ブロック大会に監督として出場し、33年ぶりに国民体育大会冬季大会への出場権を獲得した。また、33年ぶりに出場した第70回国民体育大会冬季大会では1回戦で本県アイスホッケー競技史上初の勝利をもたらし、ベスト16の結果を残した。その後も引き続き選手強化や競技力向上に努め、全国の強豪大学から選手を勧誘し、自社においても多くの選手を採用するなど、本県のアイスホッケー競技の発展に大きく貢献した功績は誠に顕著である。

わ だ せい ごと  
和 田 晴 吾

和歌山県立紀伊風土記の丘協議会 会長

《主な功績》 平成4年に和歌山県立紀伊風土記の丘協議会委員として、考古学特に古墳研究における有識者として活躍され、平成12年から23年間、同協議会長としてその卓越した知識、指導力を持って、協議会運営に寄与した。また、特別史跡岩橋千塚古墳群の保存・活用事業に大いに貢献するとともに、協議会評価部会運営再編整備事業における助言・指導、和歌山県文化財保護審議会委員としての県内文化財の保存・活用への貢献など本館博物館運営及び県文化財保護行政に尽力した功績は誠に顕著である。

## ●団体の部

ふじしろ ししまいほぞんかい  
藤白の獅子舞保存会

代表：羽賀 亮太 所在地：海南市

### 《主な功績》

藤白の獅子舞は、海南市藤白に鎮座する熊野九十九王子（くまのくじゅうくおうじ）の中でも「五躰王子（ごたいおうじ）」の一つとして知られる藤白神社の祭りに奉納される。藤白の獅子舞は、天狗面をかぶった猿田彦命（さるたひこのみこと）が、鉾と巻物を持って獅子と対峙し、笛と太鼓と囃子（はやし）に合わせて、獅子をあやしながら鎮める舞である。獅子は、4 mに及ぶ大きな幕のなかに5人の舞い手が一列に入って演じられる。本芸能を保持する藤白の獅子舞保存会は、50年以上にわたって獅子舞に用いる道具や衣装を良好な状態で保管・維持するとともに、獅子舞を奉納する1ヶ月前から練習を始めるなど、獅子舞の保存・継承に精力的に取り組んでいる。また、県内外の民俗芸能公演にも積極的に上演し、新たな層への普及に尽力している。同保存会の活動を通じて、地域文化の担い手づくりや、郷土の歴史文化に触れる機会が保たれており、本県の伝統文化の向上と発展に多大な貢献をしている。

## 《教育行政部門》

本県教育の向上に努め、地域と連携した教育の推進に貢献した市町村の教育長及び教育委員の方々に表彰状を授与する。

なか やま よし こ  
中山佳子

海南市教育委員会 委員

《主な功績》

平成24年から海南市教育委員会委員として、通学路の安全対策、校舎の施設整備等に積極的に言及するとともに、教育ICT化推進の必要性等、教育行政に関する重要な事項について、保護者の立場から貴重な提言を行った。また、長年携わっているガールスカウト活動や海南市地区人権尊重推進委員、民生委員・児童委員としての活動で把握した教育的課題を教育委員会議で取り上げるなど、教育の振興・発展に大きく貢献してきたその功績は誠に顕著である。

おか もと かず よし  
岡本和能

美浜町教育委員会 委員

《主な功績》

平成24年から美浜町教育委員会委員として、子供たちの学習環境の充実と学習意欲の向上、心身の健全な成長と発達を信念として活動されている。長きにわたり地域の障害福祉事業に取り組みられてきた知識と経験を活かし、強い責任感と行動力をもって、美浜町の幼児教育・保育、学校教育、社会教育等の振興・発展に大きく貢献してきた功績は誠に顕著である。

つ むら ひとし  
津村均

元すさみ町教育委員会 委員

《主な功績》

平成15年からすさみ町教育委員会教育長として、児童・生徒の教育環境の整備を図り、総合的な教育効果の向上をめざすため、保護者や地域等との協議を行い、「すさみ町小中学校統合問題検討委員会」の設立に向け尽力され、それ以降のすさみ町の学校統合に向けた基盤をつくられた。また、平成23年からは、すさみ町教育委員会委員長として、学校教育の充実及び文化・スポーツの振興、社会教育の推進に尽力するなど、すさみ町の教育水準の向上に大きく貢献してきた功績は誠に顕著である。

# きのくに教育賞受賞者

本県学校教育において、特に優れた教育実践を行い成果を上げていると認められる教職員の方々に表彰状を授与する。

## 《小学校の部》

み やけ けい こ  
三 宅 桂 子

紀美野町立野上小学校 教諭

### 《主な功績》

きめ細かな指導と学習規律が整うことによる落ち着いた学級経営には定評があり、他の教員へ適切に指導助言を行うなど、校内における若手教員の人材育成の中心的な役割を担っている。

I C T機器を効果的に活用し、視覚支援に配慮した学習指導に取り組むなど、書く活動に焦点を当てた研究を現職教育主任として推進した。また、令和4年度から「課題を追求する学習をめざして」として、授業の導入部分の工夫についての研究を進め、積極的に授業を公開するなど授業研究を牽引している。

町内の小学校教員で構成する現職教育部会において、学年に応じた実践的な学習指導の在り方等についての的確に助言するなど、当該地方の教員に信望がある。また、認定こども園との「園小連携」において、相互訪問等の各種取組を行う上で、学校の要となっており、園の職員及び保護者等からの信頼も厚い。

平成19・20年度海草地方道徳教育研究発表会において実践発表を行い、成果を広く普及した。また、令和元年度には県指導委員及び町教科指導員（国語科）としての的確な助言を行うなど、当該地方の授業力向上に寄与している。

か とう あつ こ  
加 藤 充 子

岩出市立根来小学校 教諭

### 《主な功績》

所属校では、通級指導教室担当教員及び特別支援教育コーディネーターとして、学校全体の状況を把握しながら、配慮を要する児童のアセスメントや若手教員の省察を支援する指導力と調整力を発揮して中心的な役割を担っている。

和歌山大学教職大学院特別支援教育特別専攻科への国内留学や特別支援教育士等の資格取得による専門性を生かし、ユニバーサルデザイン（UD）の視点を取り入れて作成した「UD化チェックリスト」が活用されることで、授業改善及び支援体制づくりの推進、充実に大きく貢献している。

県の教育相談等早期支援に係る巡回相談員として、特別支援学級に入級している児童の観察や今後の取組について助言を行っている。また、市内の学校における校内研修の講師を務めるなど、当該地方の特別支援教育の充実に寄与している。

令和3年度高知県通級による指導担当教員研修及び令和5年度和歌山県通級指導教室担当教員研修において、小学校通級指導教室での取組について実践発表を行うなど、実践の成果を広く普及している。

うめ むら きょう こ  
梅 村 恭 子

田辺市立稻成小学校 教諭

《主な功績》

長年にわたり特別支援学級担任として配慮を要する児童やその保護者に対して誠実に対応するとともに、専門的な知見とこれまでの実践に基づいた的確な助言により、児童や保護者からの信頼が厚い。

和歌山大学教職大学院特別支援教育特別専攻科への国内留学や、関係機関との連携を通じて得た専門性や実践力を発揮することで、中心的かつ指導的な立場で当該地方の特別支援教育を牽引している。

学校の教育活動全体を通じた双方向のコミュニケーション能力の育成を図るため、「双方向コミュニケーション評価シート」を作成している。同シートを特別支援学級に在籍する児童だけでなく、通常の学級に在籍する児童の実態把握や目標設定、変容分析等に活用することで、学校全体が特別支援学級に在籍する児童を受容できる環境づくりに寄与している。

令和3年度第60回全日本特別支援教育研究連盟全国大会・和歌山大会において、双方向のコミュニケーション能力を高めることを目的として取り組んだ授業実践を県代表として誌上発表し、実践の成果を広く普及した。

## 《中学校の部》

くろ だ まき こ  
黒 田 真紀子

和歌山市立日進中学校 教諭

《主な功績》

美術教育において、日々、教材研究や教材開発に取り組んでいる。授業実践では、感性や想像力等を豊かに働かせる学習活動を重点とし、ワークシートを用いて、生徒が興味・関心をもって学習に取り組めるよう工夫している。

令和4年度から県指導委員及び今年度から和歌山市美育協会の事務局長を務めるなど、美術教育の中心的な役割を担い、他の教員への研修の実施や指導助言等を通して、授業力向上に貢献している。

美術の高い専門性を生かし、教育雑誌への取組事例掲載や平成30年度から4年間にわたり、和歌山大学教育学部で年に1度講師を務めるなど、現任教員に加え、教員志望の学生の育成にも積極的に携わるなど、美術科教育の振興に大きく寄与している。

国立美術館主催「平成30年度美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修」に参加し、自己研鑽を行っている。また、和歌山美術館教育研究会に参加し、県立近代美術館における鑑賞ワークシートを学芸員と協働して作成するなど、美術館と学校が連携した取組の充実に尽力している。

すぎ たに もと こ  
杉 谷 素 子

印南町立清流中学校 教諭

《主な功績》

理科の高い専門性を生かし、身近な自然事象に対する気付きを基にした課題の設定や、見通しをもった観察・実験の実施等、科学的に探究する活動を重視した丁寧な指導で、生徒の主体性や自己肯定感を高める実践を重ねている。また、絶えず自己研鑽に励み、授業改善に努める姿は他の教員の模範となっている。

平成30年度「学力向上コアティーチャー養成・活用事業」において、秋田県での実地研修に参加し、学習指導や研究体制等の教育実践を学んだ。また、研修後に町内の理科部会や日高地方ミドルリーダー研修会で研修成果を報告するなど、当該地方の理科教育の発展に貢献した。

県教育委員会が作成した「きいちゃんと学ぶ！理科マスター問題集」の作成協力者として、家庭学習の充実を図るための実践事例を提供した。また、令和元年度に県指導委員を務め、当該地方の理科教員の授業力向上に寄与した。

令和4年度マネジメント力向上研修を受講し、アセスメントやファシリテーションスキルの向上方法、マネジメントスキル等について学習し、組織的な教育活動の中核としても日々活躍している。

## 《高等学校・特別支援学校の部》

かわ ぐち あつ し  
川 口 敦 志

和歌山県立和歌山商業高等学校 教諭

《主な功績》

南海トラフ巨大地震を想定し、被災・避難時の諸課題解決に向けた取組の中で、現状の調査や課題・改善点の洗い出し、災害弱者に対する支援を含めたアイデアの提案・実行、改善・見直し等を行う教育を実践した。その授業での取組が、優れた防災教育を表彰する1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」において、令和3年度のグランプリ、令和4年度のURレジリエンス賞を受賞した。

「南海トラフ地震」をテーマとし、災害発生時に不足物資を被災地へ届けるアプリ開発を提案する取組を授業の中で行い、生徒を指導した。その結果、次世代を担う高校生が地域住民の協力を得ながら各地域の課題を考察し、解決策を立案する地域課題解決プログラム「Rakuten IT School NEXT」において、参加高校生からの評価が高い発表に贈られるStudent賞の受賞につながった。

商業教育研究部の顧問として、令和4年度より、県内の農業高校生が加工した食品を、ECサイトで販売する取組を指導した。ECサイト販売の取組を通して、農業高校生やECサイト社員と販売戦略等について計画・協議の指導を行い、学科を横断した学びに寄与している。

第51回関西商業教育研究大会和歌山大会において、和歌山県代表として実践発表を行うなど、商業科教育の充実・発展に寄与している。

と だ し ほ  
戸 田 糸 保

和歌山県立箕島高等学校 養護教諭

《主な功績》

和歌山県高等学校カウンセリング研究会の研修に積極的に出席することで、カウンセリング技術の向上を目指すとともに、交流分析（エゴグラム）やセルフカウンセリングの勉強会にも積極的に参加し、学んだ専門的知識を存分に活用し、校内における教育相談活動のリーダーとして、発達に課題を抱える生徒や、精神的に安定しない生徒、家庭への支援を行った。

長年、性教育の実践に取り組み、その成果を、和歌山県性に関する指導の実践発表や全国養護教諭研究大会の分科会等で発表した。令和4年度に文部科学省の「生命（いのち）の安全教育推進事業」を受託し、箕島高等学校1年生を対象に、授業の企画・立案・調整・実施等、運営の中心的存在として活躍した。また、和歌山県教育委員会発行の「性に関する指導の手引き」の作成委員の一員でもあり、これらの取組は実践編の指導事例としても掲載され、本県の教育活動の振興に大きく貢献している。

NITS（独立行政法人教職員支援機構）主催の「健康教育指導者養成研修」に平成28年度と令和4年度に参加している。うち平成28年度は保健主事・養護教諭の職務に関する研修会で報告者も務めるなど、教育の発展に大きく寄与している。

近年は、専門知識を発揮し、新型コロナウイルス感染症の感染者や濃厚接触者等に的確な指示を行うなど、校内の感染症予防対策に尽力した。

きよ の ゆう すけ  
清 野 祐 介

和歌山県立串本古座高等学校 教諭

《主な功績》

英語科教員として常に研鑽を積みながら、日本や世界の状況を見つめ、現代社会で求められる教育について研究と実践を続けている。令和5年度和歌山県高等学校英語授業改善研究協議会では、協力校の委員として「生徒の英語力向上」について実践発表を行った。現任校では教務部長を務め、学習指導要領改訂の意義の周知徹底を図るとともに、授業改善の牽引役となっている。

同校の特色ある教育「地域まるごとキャンパス構想」を推進し、地域と連携したカリキュラムの開発・実践・改善や、公営塾「くろしお塾」設置に向けて尽力した。また、国の研究指定事業「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」や「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」を主導し、地域と協働した生きる力を育むためのカリキュラム開発や学校の魅力化推進、普通科改革の中心を担っている。

国際交流の機会としてアジア・オセアニア高校生フォーラムや「世界津波の日」高校生サミットへの生徒の積極的参加を促し、国際理解を深めるとともに、津波防災について自ら考え、発信できる人材育成を行っている。

CGS（地域包括的支援）部の顧問として、ボランティアや商品開発、地域課題の探究等を通じて、地域の活性化に貢献し、地域の未来を考え、グローバルな視点をもったローカルリーダーの育成に励んでいる。

いし だ ま ゆみ  
石 田 真 弓

和歌山県立和歌山高等学校 教諭

《主な功績》

紀央館高等学校書道部顧問の際には、9年連続して全国高等学校総合文化祭に出展する県代表生徒（のべ17名）を育成するとともに、2015年紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の際に作成された「御製」の石碑を揮毫した生徒の指導を行うなど、県内高等学校の芸術文化の振興と健全な高校生の育成に寄与している。

令和元年度から3年間にわたり、県高等学校文化連盟書道部会代表理事を務め、第45回全国高等学校総合文化祭紀の国わかやま総文2021書道部門代表委員として大会成功に尽力した。

書家活動を行い、書道における研鑽を積むだけでなく、令和元年から3年間、芸術科書道の教科指導委員を務めるなど、本県の芸術科書道の発展に貢献している。

NITS（独立行政法人教職員支援機構）主催の平成29年度いじめの問題に関する指導者養成研修と令和4年度教職員等中央研修（中堅教員研修）、県教育センター学びの丘主催の令和2年度ミドルリーダー育成研修を受講するなど、向学心が高く、日々の教育活動において研修成果を発揮している。

こ いけ  
小 池

つとむ  
勤

和歌山県立和歌山ろう学校 教諭

《主な功績》

理容師資格に加え、美容師資格取得を可能とした平成29年度からの「理容・美容科」への学科改編にあたり、カリキュラム編成や科目担当資格の取得等に尽力し、聴覚障害のある生徒の社会自立に向けた職業教育の充実に貢献してきた。

「理容・美容科」開設後は、国家資格である美容師免許取得に向けた指導に尽力し、美容師免許の取得を希望する生徒全員が免許の取得に至っている。

聴覚障害の特性を踏まえたわかりやすい指導方法を日々工夫しており、特にICTの活用に積極的に取り組んでいる。これにより、生徒の振り返る機会や、健聴者とのコミュニケーション機会が増え、生徒の技能向上や学習意欲の向上につながっている。

各種競技大会への参加促進や、地域住民を対象とした「ネイルボランティア」の機会を積極的に設けており、生徒の理容・美容に関する技量向上や、自己効力感の向上へとつながっている。

生徒の実態を的確に把握し、生徒に寄り添う支援は、生徒や保護者からの信頼も厚く、若手教員の目標となる存在である。





# きのくに教育の匠受賞者

きのくに教育賞受賞者のうち、特に継続的な実践で成果を上げ、かつ、他の教員の指導力向上に寄与した方に対して称号を与える。

## 《小学校の部》

うめ むら きょう こ  
梅 村 恭 子

田辺市立稲成小学校 教諭

※《主な功績》については、きのくに教育賞受賞者をご覧ください。

## 《中学校の部》

やま べ たか こ  
山 部 太佳子

かつらぎ町立妙寺中学校 教諭

《主な功績》 数学科において、生徒による「問題づくり」の授業を実践し、生徒の主体性を高める授業を展開している。問題作成、求答、解説作成、発表、まとめ、振り返りという一連の活動を通して、根拠を明らかにし、筋道立てて説明する力の育成に貢献している。

県教育委員会が主催する「平成26年度中学校数学科教育実践研修」において、研究授業を実施した。また、平成30年度から2年間にわたり、県の数学科指導委員を務めるなど、県内の数学教員の指導力向上に寄与した。

令和2年度から伊都地方数学教育研究会の事務局を担当し、他の教員と協力し、教材研究を行っている。第66回近畿算数・数学教育研究大阪大会の実践発表では、実践の成果を広く普及した。令和3年度からは、かつらぎ町学力向上プロジェクトチームのリーダーとして、小学校算数科における児童の学習内容の定着に尽力するなど、当該地方の算数・数学教育の充実・発展に大きく貢献している。

顧問を務める吹奏楽部では、県吹奏楽コンクール小編成部門において、金賞を受賞するなど、生徒の活躍を支えている。また、同部は、町の行事での演奏や、福祉施設でのボランティア演奏等を積極的に行い、地域においても欠かせない存在となっている。

## 《高等学校・特別支援学校の部》

さん りょう なお こ  
三 龍 直 子

和歌山県立向陽高等学校 教諭

### 《主な功績》

海外での研修や留学等で得た英語の教授法や評価法についての研究成果を生かし、多読プログラムの取組や英語の4技能を相乗的に育成する指導で、生徒の英語力の向上に成果を上げている。

英語と他教科との教科横断型学習兼探究型授業（クロスカリキュラム）に取り組み、他教科に関する内容をテーマとして、探究活動へと展開した。調査内容を英語で説明させることで、学習したことに理解を深めるだけでなく、表現力の向上につなげる授業実践を行っている。

文部科学省より「英語教育推進リーダー」に認証されており、県教育委員会が主催する和歌山県高等学校英語授業改善研究協議会において、副会長を務めるなど、県内の英語教育の発展を牽引している。

英語スピーチコンテストや英語ディベート大会において、高い指導力により好成績を収めるとともに、和歌山県高等学校教育研究会英語部会では、教員向け研修の企画やスピーチコンテストの運営等の中心的役割を担い活躍してきた。

ふじ き いく ひさ  
藤 木 郁 久

和歌山県立桐蔭高等学校 教諭

### 《主な功績》

科学、宇宙、プログラミング等の多様な領域で、その専門性を生かした卓越した指導力と熱意により、理科教育の発展に貢献している。

長年「缶サット」競技に携わり、生徒の自主性を重視した指導により、「計画力」「問題発見能力」「問題解決能力」等の育成に寄与している。「缶サット甲子園」では全国大会で2回の優勝に導き、アメリカやイタリアで行われた世界大会に出場させるなどの多くの成果を上げ、生徒の進路実現にも大きく貢献した。

桐蔭中学校と桐蔭高等学校の生徒が連携して、WRO（自律型ロボットによる競技会）、ドローンプログラミングチャレンジ等の各種コンテストに積極的に参加させることで、高みを目指して切磋琢磨する意識を醸成する取組を実践している。

県内初のJAXAスペースティーチャーズ和歌山を委嘱されるなど、県内宇宙教育の中心的役割を担い、その推進に精力的に取り組んでいる。また、和歌山県宇宙教育研究会の事務局長として、ロケット教室等のワークショップを開催することで、宇宙をはじめ科学への興味・関心を持ち、高度な知識と技術を有する児童生徒の育成に尽力している。